

About GreyHound

MAKES THE DIFFERENCE

GreyHound(グレイハウンド)社は、2013年設立のイタリアのレーシングカート用シート製造メーカーです。代表のアlessandro・スフェッラさんは1978年生まれのイタリア人。10歳からお父様の影響でカートを始めました。イタリア国内外の多くのカートレースに出場し、ドライバーとしても非常に優秀で、トップカートやトニーカートのワークスドライバーとして活躍。ヨーロッパ選手権優勝など多くのタイトルを獲得しました。28歳の頃からは、それまでの経験を活かしレーシングチームを運営。同氏の奥様の弟でもあるロレンツォ・カンプレゼ選手(現在はメーカーワークスチームに所属)を擁し数々のビッグタイトルを手にします。その後、かねてより興味を持っていたレーシングカートにとって非常に重要なパーツであるシートの製造に乗り出します。シートの形状はもちろん、生地素材の研究や製造手法をひたすら研究しサーキットでテストを繰り返すこと約2年。ついに最良のシートが完成し2013年にグレイハウンド社を設立、シャーシメーカーの純正シート指定を数多く獲得し世界中に販路を拡大しました。弊社では2016年に GreyHound 社製品のポテンシャルに注目し契約、日本での取り扱いを開始いたしました。Made in Italy 熟練の職人が時間をかけて手がけるオールハンドメイドのハイクオリティシートを是非お試しください。



GreyHound 社は、イタリアのカート業界で活躍する多くのドライバーやメカニックが住むイタリア中部の町ペスカラにあります。アドリア海に面した美しい海辺があります。



①ここではGreyHound社が行う完全手作りのシート製造について説明します。シートにはいくつもの製造方法と時短を行う裏技があります。しかし同社では最も手間がかかる方法を採用しています。



②シートの骨格とも言える生地をロールからカットします。この生地はシートの性能の多くが決まる非常に重要なマテリアルで、生地自体も大変高価です。世界中の生地を集めてテストも行っています。



③生地素材によっては非常にデリケートでほつれやすく、カットの際にハサミの角度がずれるだけでも破損するそう。シート成型時にも非常に慎重な作業が求められ、熟練の職人が担当します。



④シート型枠置き場から形状やサイズに合わせた型枠を選びます。シート製造には幾つかの方法があり、金型に流し込む方式、ビニール袋のような枠に入れて真空にして成形する方法がありますが、



GreyHound社アlessandro社長と。2017、2020、2023年に訪問し、その都度シートについて詳しくレクチャーと製造の見学をさせて頂いています。また毎年従業員数も増え続け、本年には工場を拡充予定。



90年代~2000年代にかけてメーカーのワークスドライバーとして活躍し、ヨーロッパ選手権では当時のミッションクラスで優勝。スカラシップを得てFormulaにも進出した名ドライバーだった。



奥様の弟でもあるカンプレゼ選手と共にアジアパシフィック選手権優勝。実はエンジンチューナーとしても活躍。同氏のエンジンでこのレースも優勝。またParolinワークスの創成期の活動を行った。



⑤同社では、最も手間の必要な手作業でのハケ塗りを行います。シート自体がフレキシブルかつ自然に運動するにはこの製造方法が最適です。またFRPは日本製で、こちらも非常に高価です。



⑥そして生地を置き慎重にFRPを浸透させます。他ブランドではここで生地にハサミを入れ曲線部分の加工を時短することが多いですが、同社ではハケで丁寧に生地を伸ばし、美しい曲線を仕上げます。



⑦一枚の生地を丁寧に成型し、部位によっては補強のために生地をもう1枚重ねます。こうして生地素材をカットすることなく手作業で時間と手間をかけ成型を行い、最後にロゴを貼りつけます。



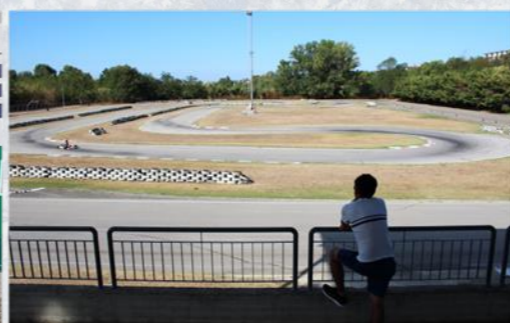
⑧成型工程を終えたシートは、乾燥室へ移され季節により変わる乾燥時間を経て硬化していきます。この時に紫外線などは使わず湿度調整と換気のみされた暗室を使用し、ゆっくりと硬化していきます。



後のF1ワールドチャンピオン ジェンソン・バトン選手を従え優勝するアlessandro社長。バトン選手とは良いライバルで、度々コース上でバトルを演じたそう。一歩間違えてたら彼もF1ドライバーだったかも。



同社のチーム SC パフォーマンスにてカンプレゼ選手は、2019年のヨーロッパ選手権 KZ1クラス優勝。僅か1ポイント差でチャンピオンは逃したが、活躍が認められ、アlessandro社長は巨大ワークスのチームボスの一人に就任し、同選手もワークスドライバーへ。



GreyHound社から車で10分程にあるサーキット。有名なサーキットではないが、十分な広さでテストにもってこい。新しいアイデアやシートの研究などが必要な場合には、すぐにカンプレゼ選手がテストを行う環境を整えている。



⑨乾燥したシートを型から外します。実は赤色の型枠は何度も使用すると温度変化で割れ、役目を終えます。型枠を使用しない製造方法もありますが、同社理想の動きは型枠と手作業で実現されます。



⑩最後まで手作業です。はみ出たミミの部分を実際にカットします。累計7万個以上のシートをカットしてきた熟練の職人がグラインダーを入れカット、なんと1分強で寸分の狂いなくカットを終わらせます。



⑪切り出されたシートはミミの残骸がシートの形状を保つほどの見事な職人技。仕上げにカット部分のバリ取りを行い、ついにシートが完成しました。ちなみにカットルームには最強集塵換気マシンを完備。



⑫こうして全ての工程を手作業で終了したシート達は最終検品の後、丁寧に梱包され世界中に活躍の場を求め旅立って行きます。イタリアの熟練の職人達が手間暇かけて仕上げた至極の逸品です。



GREYHOUND

www.greyhoundseats.com

